



情報モラルアンケート

方 法 2 : 質問用紙によるアンケート調査

- (1) アンケート方法
 ・方法1でのアンケート調査ができない場合のみ、裏面の用紙に必要な事項をご記入いただき担任にご提出ください。
- (2) 提出締切
 ・令和3年7月21日（水）
- (3) 注意事項
 ・方法1にて、アンケートにお答えした方については提出は必要ありません。

*は、必須項目です□にチェックマークをご記入ください
A: スマホやネットの使用に関わること
A-1: あなたはネットにつながる何を持っていますか? (持ってるものに <input checked="" type="checkbox"/>)
<input type="checkbox"/> 持っていない <input type="checkbox"/> スマホ <input type="checkbox"/> ガラケー <input type="checkbox"/> パッド <input type="checkbox"/> ゲーム機 <input type="checkbox"/> パソコン <input type="checkbox"/> その他
A-2: 1日合計で、どれくらい使いますか
<input type="checkbox"/> 使わない <input type="checkbox"/> 1時間以内 <input type="checkbox"/> 2時間くらい <input type="checkbox"/> 3時間くらい <input type="checkbox"/> 4時間くらい <input type="checkbox"/> それ以上
A-3: どんなことに使いますか (やっってることに <input checked="" type="checkbox"/>)
<input type="checkbox"/> 使わない <input type="checkbox"/> ゲーム <input type="checkbox"/> 動画 <input type="checkbox"/> LINEなどのSNS <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> Webで調べる <input type="checkbox"/> その他
A-4: SNSでどんなサービスを使っていますか
<input type="checkbox"/> 使っていない <input type="checkbox"/> LINE <input type="checkbox"/> ツイッター <input type="checkbox"/> フェイスブック <input type="checkbox"/> インスタ <input type="checkbox"/> ティックトック <input type="checkbox"/> その他
B: 約束に関わること (親子で答えてください)
B-1: スマホやネット・ゲーム機を使う約束はありますか?
<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ぼんやりとある <input type="checkbox"/> ない
B-2: 約束を守っていますか
<input type="checkbox"/> 守っている <input type="checkbox"/> だいたい守っている <input type="checkbox"/> あんまり守っていない <input type="checkbox"/> 守っていない
B-3: 約束を守らないときどうしてますか
<input type="checkbox"/> 取り上げるなど、決められた罰がある <input type="checkbox"/> しかられるだけ or しかるだけ <input type="checkbox"/> 何もしない
B-4: 定期的に約束点検をしていますか
<input type="checkbox"/> している <input type="checkbox"/> していない <input type="checkbox"/> 考えたことも無い <input type="checkbox"/> 任せている <input type="checkbox"/> 信頼している



C: 被害に関わること
C-1: スマホやネットでいやな思いをしたことがありますか
<input type="checkbox"/> 持っていない <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
C-2: どんないやなことがありましたか (あったことに☑)
<input type="checkbox"/> いやなことは無い <input type="checkbox"/> 「ばか」「あやまれ」とか、いやなことを言われた
<input type="checkbox"/> 「死ぬ」、「消えろ」とか言われた <input type="checkbox"/> 「なぐる」「学校に、来れんようにする」とか言われた
<input type="checkbox"/> 「学校来るな」と言われた <input type="checkbox"/> 「つきあえ」とか言われた <input type="checkbox"/> 「殺す」、「金出せ」とか言われた
C-3: 被害にあったら誰に相談しますか
<input type="checkbox"/> 親 <input type="checkbox"/> 先生 <input type="checkbox"/> 友だち <input type="checkbox"/> ネットの友達 <input type="checkbox"/> 誰にもしない <input type="checkbox"/> その他
C-4: 解決しないときどうしますか (あてはまるものに☑)
<input type="checkbox"/> がまんする <input type="checkbox"/> 付き合うのをやめる <input type="checkbox"/> 仕返しをする <input type="checkbox"/> 学校に、キチンと言う
<input type="checkbox"/> 教育委員会に、キチンと言う <input type="checkbox"/> 警察に届ける <input type="checkbox"/> 弁護士などに相談する
D: 自分の未来にかかわること
D-1: SNS やゲームサイトなどに、自分の顔が分かる写真をUPしていますか。
<input type="checkbox"/> していない <input type="checkbox"/> している <input type="checkbox"/> 覚えていない
D-2: 利用しているサービスのアカウントとパスワードを記録していますか
<input type="checkbox"/> 全てしている <input type="checkbox"/> 一部していない <input type="checkbox"/> 分からない
D-3: 利用しなくなった SNS アカウントなどを削除していますか
<input type="checkbox"/> 全てしている <input type="checkbox"/> 一部していない <input type="checkbox"/> 分からない
D-4: SNS に、あとから見て『ヤバイ』と思うことが残っていませんか (LINE トーク画面など)
<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> あるかもしれない <input type="checkbox"/> ないと思う <input type="checkbox"/> 絶対ない
E: スマホやネットで心配事などをお書きください

【参考】岐阜新聞連載 R03 4月号『考えよう! みんなのスマホ・ケータイ!』(毎月第2 火曜日朝刊)

3月、悲しくてやりきれない事件がまた一つ起きてしまいました。名古屋市の中学生在が SNS でのいじめに悩み、自らの命を絶ってしまったのです。「何かできることはなかったのだろうか」、そう多くの方が思われたことでしょう。彼女は SNS の中で、心傷つくことを言われ、悩み続けていたと報道されています。さらに、学校には複数回そのことで相談をし続けていたということです。「もし同じことが自分に起きたら」と考えてみてください。誰にどう相談し、どうすればいいのでしょうか。

ネットのいじめだけでなく、自分が誰かに傷つけられた場合、まず、その『事実の記録』を残しておきましょう。SNS なら、スマホの画面を写メで撮影したり、スクリーンショットで記録したりしておくのです。さらに、それを印刷して、日にちや時間、相手が誰なのかをメモして“文書として保管”しておきましょう。被害が繰り返される場合は、何枚もファイルに閉じておきましょう。これが、お子さんを守る“盾”になります。お子さんがつらすぎてできない場合は、保護者の方が代わりに記録することを強くお勧めします。

次に、その記録を持って、学校に相談に行くのです。具体的に、「こういう事実で、こういう被害があるのです」と、学校に相談しましょう。それでも、解決の道が見えてこない場合や、時間がかかりすぎる場合は、ためらうことなく警察や弁護士、人権関係の機関に相談しましょう。保護者の方はその『覚悟と強い意志』をもってください。それが、お子さんを守る一番大きな力になります。

みなさん、あなたは決して“一人”でも、“独り”でもありません。警察も弁護士も様々な機関も、私のような研究者も、もちろん学校も必ず動き始めます。つらい中で記録をとることは、とても大変です。家族に話して、みんなで分かりあひながら、みんなで闘いましょう。

最後に、亡くなられた彼女のご冥福をお祈りします。そして、二度と繰り返さないために、多くの人に伝えていこうと心に誓います。